

# 「太陽光発電 2040年トップ電源への展開～2025年総括と2026年展望～」

開催日時：2026年1月22日（木）15時00分～16時30分

司会進行：太陽光発電事業支援部 金井 さつき

## ① ご挨拶

代表取締役 一木 修



## ② 海外市場とサプライチェーンの潮流： 2025年のまとめと2026年の展望

調査事業部 主任研究員 岡崎 順子



## ③ 太陽電池の最新トレンド：シリコン～ペロブスカイト

調査事業部 上席研究員 栗原 理砂



## ④ 太陽光発電・蓄電池に関する政策の重要ポイント

太陽光発電事業支援部 主任研究員 山谷 東樹



\* 皆様からのご質問は、Q&Aへの書き込みをお願いいたします

# 「太陽光発電 2040年トップ電源への展開～2025年総括と2026年展望～」

開催日時：2026年1月22日（木）15時00分～16時30分

## ⑤ 太陽光発電導入量予測（2025～2040年）

太陽光発電事業支援部 上席研究員 杉渕 康一



## ⑥ 蓄電池ビジネス2025年の振り返りと2026年の展望

太陽光発電事業支援部 主任研究員 江澤 直史



## ⑦ 資源総合システムからのお知らせ

企画部 首席研究員 貝塚 泉



## ⑧ 質疑応答

\* 皆様からのご質問は、Q&Aへの書き込みをお願いいたします



# 「太陽光発電 2040年トップ電源への展開 ～2025年総括と2026年展望～」

2026年1月22日（木）15時00分より開始いたします

## ● オンラインセミナーご参加にあたっての注意事項

- ・ 主催者の許可なくオンラインセミナーの内容を録画、録音、静止画の保存を禁止します
- ・ オンラインセミナーの内容および資料等の著作物を、主催者の承諾なく二次使用するなど著作権等の知的財産を侵害する行為を禁止します

## ● 本日の講演者のご紹介



一木 修 (いつき おさむ)  
代表取締役 首席研究員

1983年3月の会社設立以来、シリコン原料から太陽光発電システムまでをカバーする太陽光発電分野専門のコンサルティング会社の代表として、各種調査及びコンサルティング業務に従事。政府機関、地方自治体、電力、発電事業者、ゼネコン、太陽電池、システムをはじめとしたメーカーから金融など川上から川下まで、事業戦略の構築支援を中心としたコンサルテーションを実施。経済産業省及び新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、光産業技術振興協会（OITDA）をはじめ、各種の太陽光発電に関する委員会委員を歴任している。2007年12月には、太陽光発電国際会議「特別賞」を受賞。「継続は力なり」をモットーにして、太陽光発電の基幹電源化及び社会システムへの発展に全力投球している。

## ● 本日の講演者のご紹介



**岡崎 順子 (おかざき じゅんこ)**  
調査事業部 海外グループ  
主任研究員

中国をはじめとした海外の太陽光発電普及政策や産業動向等の調査・分析を担当している。太陽電池生産量、導入量ともに世界第1位である中国の動向は国内外（または海外市場のみならず我が国）太陽光発電市場にも大きな影響を与えることから、中国の最新動向を常に追いかけ、世界へ波及する流れをいち早く分析してお届けしたいとの思いで業務に取り組んでいる。



**栗原 理砂 (くりはら りさ)**  
調査事業部 上席研究員

シリコン原料から太陽電池モジュールまでの太陽電池バリューチェーンを中心とした調査分析を主導しており、川上セクターの研究開発から製造技術、市場、企業動向に関わるコンサルティングに携わる。とくに太陽電池や材料の生産量見通しの分析が得意分野である。官公庁向け太陽光発電関連調査では、セル構造や材料の技術動向に関する調査を長年実施。「テクノロジーによる気候変動問題解決を」との思いで日々業務に取り組んでいる。

## ● 本日の講演者のご紹介



山谷 東樹 (やまや はるき)  
太陽光発電事業支援部  
主任研究員

太陽光発電の発電事業者を対象にした月刊レポート「PV発電事業最前線」の編集責任者を務め、日本の固定価格買取制度（FIT）の制度変更や電力システム改革をめぐる最新動向を調査・分析し、即時性の高い情報発信を行っている。発電事業者やEPC事業者に対してのコンサルティングを主導している。コンサルティングの一環で提供しているメガソーラーデータベースは、サプライヤが顧客獲得のために活用している。「シンプルにわかりやすく」を心掛けて、顧客へ最新の政策動向を提供している。



杉渕 康一 (すぎぶち こういち)  
太陽光発電事業支援部  
上席研究員

太陽電池セル・モジュールの製造プロセスから太陽光発電システムの設計・施工を経験した技術者として川上から川下まで幅広い分野のコンサルティングを実施している。現場で培った知見をベースに研究・製品開発・製造・品質保証・設計施工・発電量評価・O&M・製造技術コンサルティング等を担当。「これから太陽光発電は『安心・安全・安定』をこれまで以上に高いレベルで長期に維持することが大事であり、その実現に尽力していきたい」という志でクライアントにソリューションを提供している。

## ● 本日の講演者のご紹介



**江澤 直史 (えざわ なおふみ)**  
**太陽光発電事業支援部**  
**主任研究員**

産業・業務用電機メーカーにて省エネ機器の開発に携わり、太陽光発電設備関係では周辺機器の企画から開発までを行ってきた。太陽光発電所発電所や蓄電池設備の関係する制度、システム、ビジネスとその変化を見てきており、「太陽光発電ビジネスガイド」では編集を担当した。太陽光発電業界の事業の発展、成長に寄与できるよう、わかりやすい発信を心掛けている。



**貝塚 泉 (かいづか いずみ)**  
**企画部 首席研究員**

太陽光発電の市場、政策、産業、ビジネスモデルの分析を専門としており、特に海外の再生可能エネルギーの動向に精通している。国際エネルギー機関・太陽光発電システム研究協力プログラム（IEA PVPS）におけるStrategic PV Analysis & Outreach部会の副代表及び日本代表を務める。同部会が刊行するTrends in Photovoltaic Applicationsの著者の一人である。JEMA太陽光発電システム標準化総合委員会・委員長、ならびに2020年10月15日に設立された日本太陽光発電学会の理事も務める。このほか各種委員、国際会議における専門分野のチアを歴任している。2017年11月には、太陽光発電国際会議「特別賞」を受賞。「太陽光発電により持続可能な未来を創る」ことを心に描いて日々努めている。

# 日本の太陽光発電導入量予測 (2025-2040年)

## 目次

- |                    |                             |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 予測の前提           | 6. 市場別導入量予測：現状成長ケース (ACベース) |
| 2. 太陽光発電をめぐる国内外の状況 | 7. 市場別導入量予測：導入加速ケース (ACベース) |
| 3. 普及環境の想定         | 8. 市場別導入量予測：現状成長ケース (DCベース) |
| 4. 価格想定            | 9. 市場別導入量予測：導入加速ケース (DCベース) |
| 5. 太陽光発電導入量予測      | 10. 蓄電システムの導入量予測            |

## 概要

### 発行元

株式会社資源総合システム (RTS Corporation)

### ページ情報

- A4横、約180ページ
- PDFファイル (弊社サーバーからのダウンロード。オプションで印刷冊子もあります)
- 日本語 (※別に英文版も発刊予定)

### 価格 (消費税別)

- 会員：100,000円 【「太陽光発電情報」または「PV発電事業最前線」ご購読企業】
- 一般：150,000円
- 冊子：20,000円 (送料込) 【冊子のみの購入はできません】
- プレゼンテーション：50,000円 (PDFファイル購入者対象)  
全体の概要説明と質疑応答で1時間程度。オンラインもしくは対面で実施。  
(※対面実施で旅費・交通費が発生する場合には費用請求させていただきます)

### 発行年月

2026年1月

# 新刊レポートのご案内

海外の太陽光発電システム市場をわかりやすく解説！

## 太陽光発電海外市場レポート 2025/2026年版 ～海外主要市場と産業動向～

目次	海外市場	各国政策	プロジェクト	将来見通し
世界全体の導入推移と見通し				米州における太陽光発電システム市場 米国、ブラジル、チリ、メキシコ
太陽電池を巡る貿易摩擦の動向				欧州における太陽光発電システム市場 欧州連合（EU）、ドイツ、スペイン、イタリア、フランス、 ポーランド、オランダ、ギリシャ、英国
太陽電池産業のサプライチェーンの動向				中東における太陽光発電システム市場 トルコ、サウジアラビア、イスラエル
アジア・オセアニアにおける太陽光発電システム市場 中国、インド、パキスタン、韓国、オーストラリア、台湾、 ウズベキスタン、マレーシア、フィリピン、シンガポール、 タイ				アフリカにおける太陽光発電システム市場 南アフリカ、エジプト、チュニジア

概要	
発行元	株式会社資源総合システム（RTS Corporation）
ページ情報	○和文 ○調査レポート 本編 約420ページ（予定） 〈媒体〉：PDF（ダウンロード形式）（冊子も追加注文できます）
価格 (消費税別)	会員：90,000円【「太陽光発電情報」または「PV発電事業最前線」ご購読企業】 一般：110,000円 冊子：20,000円（送料込）【冊子のみの購入はできません】
発行年月	2026年2月

## 再エネ電力市場における 蓄電池ビジネスガイド（2025年版）

目次	容量市場	需給調整市場	卸電力市場	蓄電FIP市場
はじめに				
1.電力市場用蓄電池活用ビジネスの概要				7.発電設備併設蓄電池市場（蓄電池付FIP市場）
2.電力市場用蓄電池活用に関する施策動向				8.複合市場（蓄電池付FIP転換+三次②需給調整市場）
3.蓄電池事業推進のための補助金の活用				9.今後の市場見通しについて
4.容量市場				10.世界における系統用蓄電池の動向
4.1 メインオークション（追加オークションなど含む）				11.サプライヤの動向（蓄電設備、パワコン設備、アグリゲータの動向）
4.2 長期脱炭素電源オークション				12.系統用蓄電池事業のリスク
5.需給調整市場				13.蓄電池活用技術情報 用語解説
5.1 一次調整力市場				おわりに
5.2 三次調整力②市場				
6.卸電力市場				

概要	
発行元	株式会社資源総合システム（RTS Corporation）
提供形態	○約400ページ〈媒体〉：PDF（ダウンロード形式）（冊子も追加注文できます） ※ PDFと冊子は貴社内限定です。子会社や関連会社を含め配布は厳禁とさせていただきます。
価格 (消費税別)	会員：150,000円【「太陽光発電情報」または「PV発電事業最前線」ご購読企業】 一般：180,000円  【オプション】 冊子：20,000円（送料込）【冊子のみの購入はできません】 プレゼンテーション：100,000円/1.5時間【リモート】  ※ 本書内容の主要部分の説明【対面の場合は要相談（旅費交通費別途）】
発行年月	2025年2月

# レポートのご案内

政府による GX 産業政策、各省庁による太陽光発電関連の政策を徹底解説！

## 再生可能エネルギー政策の重要ポイント 2025 ～日本のトップ電源へと期待が高まる太陽光発電～

### 目次

#### 【本編】

##### 1. 政府

・GX2040ビジョン

##### 2. 経済産業省の施策

・第7次エネルギー基本計画

・調達価格等算定委員会

・次世代型太陽電池戦略

・次世代電力系統ワーキンググループ など

##### 3. 環境省の施策

・地球温暖化対策計画

・地球温暖化対策推進法

・脱炭素先行地域の選定

・太陽光パネルのリサイクル制度のあり方 など

##### 4. 国土交通省の施策

・空港脱炭素化推進計画

・道路法等の一部を改正する法律

・住宅トップランナー制度における太陽光発電の設置目標など

##### 5. 農林水産省の施策

・農山漁村再生可能エネルギー法の基本方針改正など

##### 6. 警察庁の施策

・金属盗対策に関する検討会など

##### 7. 自治体の施策

・東京都の施策、ペロブスカイト太陽電池の導入支援など

##### 8. 2025年度予算（太陽光・蓄電池関連の補助金等）

##### 9. 再生可能エネルギー政策に関する審議会

##### 10. 付録 導入事例など

### 概要

#### 発行元

株式会社資源総合システム（RTS Corporation）

#### 提供形態

○約800ページ（媒体）：PDF（ダウンロード形式）（冊子も追加注文できます）

#### 価格 (消費税別)

○電子データ（PDF）（貴社社内限定） 15,000円

○冊子（貴社社内限定）【冊子のみの購入はできません】（送料込） 20,000円

※オプション：プレゼンテーション\*（旅費交通費別途） 100,000円/時間

\*約1時間のプレゼンテーションを行います。時間内に全ての内容を詳細にご説明することはできませんので、事前にお客様のご要望をお伺いした上でプレゼンテーションを実施致します。

## 第二期大量導入展開に向けて 太陽光発電ビジネスガイド (2025年版)

主な内容	デュアルユース	PPA・FIP・アグリゲーションビジネス	O&M・価値向上・リサイクル	次世代型太陽電池・業務・産業用蓄電池
<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 第7次エネルギー基本計画と太陽光発電導入目標</li><li>✓ 導入を進めるための政府省庁の取り組み</li><li>✓ FIT・FIP制度による事業展開</li><li>✓ PPAを中心とした事業展開</li><li>✓ 新たな展開・成長を見込めるデュアルユース</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 電力ネットワーク、電力取引とアグリゲータービジネス</li><li>✓ O&amp;M関連の事業展開</li><li>✓ 業界動向の俯瞰</li><li>✓ 今後が注目のリサイクル・次世代型太陽電池</li><li>✓ 太陽光発電の成長に不可欠な蓄電ビジネス</li></ul>			

概要	
発行元	株式会社資源総合システム (RTS Corporation)
提供形態	○約600ページ〈媒体〉: PDF (ダウンロード形式) (冊子も追加注文できます)
価格 (消費税別)	会員: 120,000円【「太陽光発電情報」または「PV発電事業最前線」に購読企業】 一般: 150,000円 冊子: 20,000円 (送料込) 【冊子のみの購入はできません】
発行年月	2025年8月

## 太陽光発電マーケット 2025

～市場レビュー・ビジネスモデル・将来見通し～

目次	国内外レビュー	市場分析	産業動向	事業分析			
【本編】		ビジネス分析編					
エグゼクティブ・サマリー（総括） 2024年における太陽光発電マーケットと今後の世界市場展望		第6章 2024年の太陽光発電関連産業・企業動向 第7章 太陽電池研究開発状況・太陽光発電関連機器製品情報（太陽電池（結晶シリコン、軽量、ペロブスカイト）、パワコン） 第8章 太陽光発電をめぐる新たなビジネス展開（国内市場の主要参入企業マップ（New:蓄電所O&M、ソーラーカーポート、リサイクル、ペロブスカイト）、PPA、JCM、卒FIT電力買取サービス、新市場（水上/営農/バルコニーPV/壁面設置）、RE100、再エネユーザー）					
マーケット分析編		【付録】 固定価格買取制度設備認定状況、日本の大規模太陽光発電システム一覧、2024年の関連企業・機関動向一覧（国内約700、海外約1,130社・機関） 【情報更新サービス（各種最新データ：導入量速報 等）】					
概要							
発行元	株式会社資源総合システム（RTS Corporation）						
発行回数	○調査レポート 1回/年 ○情報更新サービス 3~4回程度/年（2025年度内の最新追加情報）						
提供形態	○調査レポート 本編 約400ページ および付録 （媒体）：PDF（ダウンロード形式）（冊子も追加注文できます） ○情報更新サービス（最新情報：太陽光発電導入量 等） PDF（電子メールにて送付）						
価格 (消費税別)	会員：100,000円【「太陽光発電情報」または「PV発電事業最前線」ご購読企業】 一般：120,000円 冊子： 20,000円（送料込）【冊子のみの購入はできません】						
発行年月	2025年9月						

資源総合システム 2026年新春公開オンラインセミナー

# 海外市場とサプライチェーンの潮流

## 2025年のまとめと2026年の展望



\* Copilotによるイメージ画像です

**2026年1月22日**  
**株式会社資源総合システム**

TEL:03-3551-6345 E-mail : [info@rts-pv.com](mailto:info@rts-pv.com) URL: <https://www.rts-pv.com>

© 2026 株式会社資源総合システム 無断複写・複製、無断転載を禁止します。

# 内容

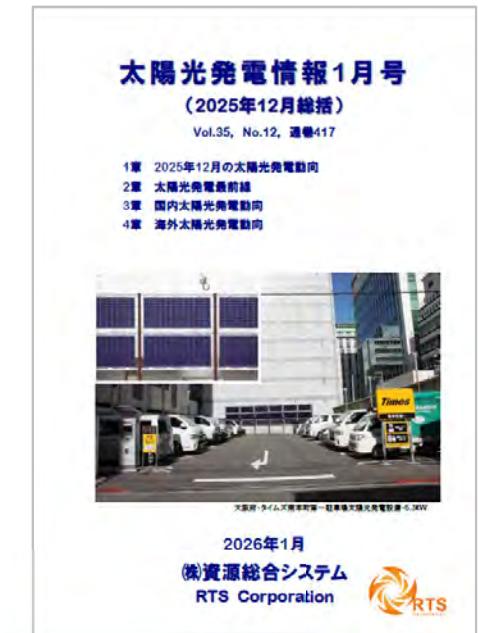
1. 2025年の世界の太陽光発電システム導入動向
2. 政策動向と展望（中国、米国、欧州、インド）
3. 2026年の世界の太陽光発電システム導入見通し
4. 太陽電池サプライチェーン動向



2026年2月4日に  
発刊予定です



2026年2月号から  
「太陽電池最前線」に  
リニューアル予定です



本プレゼンテーションの内容は、  
弊社の顧客向けレポートなどに掲載された情報等を元に作成しています

ご清聴ありがとうございました

## 太陽光発電海外市場レポート 2025/2026年版

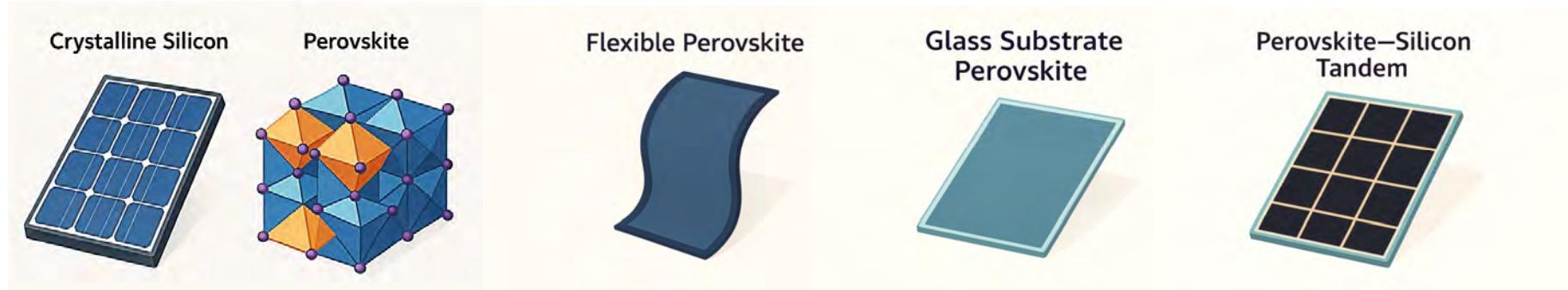
2026年  
2月4日  
発刊予定



目次	海外市場	各国政策	プロジェクト	将来見通し
世界全体の導入推移と見通し				米州における太陽光発電システム市場 米国、ブラジル、チリ、メキシコ
太陽電池を巡る貿易摩擦の動向				欧州における太陽光発電システム市場 欧州連合（EU）、ドイツ、スペイン、イタリア、フランス、ポーランド、オランダ、ギリシャ、英国
太陽電池産業のサプライチェーンの動向				中東における太陽光発電システム市場 トルコ、サウジアラビア、イスラエル
アジア・オセアニアにおける太陽光発電システム市場 中国、インド、パキスタン、韓国、オーストラリア、台湾、ウズベキスタン、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ				アフリカにおける太陽光発電システム市場 南アフリカ、エジプト、チュニジア
概要				
発行元	株式会社資源総合システム (RTS Corporation)			
ページ情報	○和文 ○調査レポート 本編 約420ページ (予定) (媒体) : PDF (ダウンロード形式) (冊子も追加注文できます)			
価格 (消費税別)	会員 : 90,000円【「太陽光発電情報」または「PV発電事業最前線」ご購読企業】 一般 : 110,000円 冊子 : 20,000円 (送料込)【冊子のみの購入はできません】			
発行年月	2026年2月			

資源総合システム 2026年新春公開オンラインセミナー

# 太陽電池の最新トレンド (シリコン～ペロブスカイト)



2026年1月22日  
株式会社資源総合システム

TEL:03-3551-6345 E-mail : [info@rts-pv.com](mailto:info@rts-pv.com) URL: <https://www.rts-pv.com>

© 2026 株式会社資源総合システム 無断複写・複製、無断転載を禁止します。

資源総合システム 2026年新春公開オンラインセミナー

# 太陽光発電・蓄電池に関する政策の 重要ポイント

2026年1月22日  
株式会社資源総合システム  
山谷

TEL:03-3551-6345 E-mail : [info@rts-pv.com](mailto:info@rts-pv.com) URL: <https://www.rts-pv.com>

© 2026 株式会社資源総合システム 無断複写・複製、無断転載を禁止します。

太陽光発電に関する主な政策動向

## 大規模太陽光発電事業（メガソーラー） に関する対策パッケージ

## 蓄電池に関する主な政策動向

- ◆ 系統用蓄電池の迅速な系統連系に向けて
- ◆ 2026年度以降の需給調整市場における対応について

資源総合システム 2026年新春公開オンラインセミナー

# 太陽光発電導入量予測 2025～2040年



2026年1月22日  
株式会社資源総合システム

TEL:03-3551-6345 E-mail : [info@rts-pv.com](mailto:info@rts-pv.com) URL: <https://www.rts-pv.com>

© 2026 株式会社資源総合システム 無断複写・複製、無断転載を禁止します。



# 日本太陽光発電導入量予測 (2025~2040年)

2026年  
1月20日  
発刊

## 目次

- |                    |                            |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 予測の前提           | 6. 市場別導入量予測：現状成長ケース（ACベース） |
| 2. 太陽光発電をめぐる国内外の状況 | 7. 市場別導入量予測：導入加速ケース（ACベース） |
| 3. 普及環境の想定         | 8. 市場別導入量予測：現状成長ケース（DCベース） |
| 4. 価格想定            | 9. 市場別導入量予測：導入加速ケース（DCベース） |
| 5. 太陽光発電導入量予測      | 10. 蓄電システムの導入量予測           |

発行元	株式会社資源総合システム (RTS Corporation)
ページ情報	<input type="radio"/> A4横、約180ページ <input type="radio"/> PDFファイル（弊社サーバーからのダウンロード。オプションで印刷冊子もあります） <input type="radio"/> 日本語（※別に英文版も発刊予定）
価格 (消費税別)	<input type="radio"/> 会員：100,000円【「太陽光発電情報」または「PV発電事業最前線」ご購読企業】 <input type="radio"/> 一般：150,000円 <input type="radio"/> 冊子：20,000円（送料込）【冊子のみの購入はできません】 <input type="radio"/> プレゼンテーション：50,000円（PDFファイル購入者対象） 全体の概要説明と質疑応答で1時間程度。オンラインもしくは対面で実施。 (※対面実施で旅費・交通費が発生する場合には費用請求させていただきます)
発行年月	2026年1月

## プレスリリース



資源総合システム 2026年新春公開オンラインセミナー

# 蓄電池ビジネス2025年の振り返りと 2026年の展望



\* Copilotによるイメージ画像です

2026年1月22日  
株式会社資源総合システム

TEL:03-3551-6345 E-mail : [info@rts-pv.com](mailto:info@rts-pv.com) URL: <https://www.rts-pv.com>

© 2026 株式会社資源総合システム 無断複写・複製、無断転載を禁止します。

再エネ電力市場における  
蓄電池ビジネスガイド  
(2025年版)

2025年2月  
株式会社資源端末システム

目次	容量市場	需給調整市場	卸電力市場	蓄電FIP市場
はじめに				
1.電力市場用蓄電池活用ビジネスの概要				7.発電設備併設蓄電池市場（蓄電池付FIP市場）
2.電力市場用蓄電池活用に関する施策動向				8.複合市場（蓄電池付FIP転換+三次②需給調整市場）
3.蓄電池事業推進のための補助金の活用				9.今後の市場見通しについて
4.容量市場				10.世界における系統用蓄電池の動向
4.1 メインオークション（追加オークションなど含む）				11.サプライヤの動向（蓄電設備、パワコン設備、アグリゲータの動向）
4.2 長期脱炭素電源オークション				12.系統用蓄電池事業のリスク
5.需給調整市場				13.蓄電池活用技術情報 用語解説 おわりに
5.1 一次調整力市場				
5.2 三次調整力②市場				
6.卸電力市場				

2026年版を  
鋭意作成中です

ご清聴ありがとうございました



\* Copilotによるイメージ画像です

# (株) 資源総合システムのサービスの御案内



お問い合わせ先

太陽電池・太陽光発電・蓄電池の専門家が、お客様の事業を支援します

長年業界で蓄積してきたノウハウ・  
強みを活かしたコンテンツ

「業界必携」の情報を  
分析・とりまとめたレポート

●事業支援情報提供

●各種レポートの提供

- 定期的情報提供（月刊）  
太陽光発電情報  
PV発電事業最前線  
太陽電池最前線  
+毎週のメールニュースとWebinar

当社ならではの最新情報、  
価格、蓄電池関連を今後充実



- 事業支援ミーティングの提供  
お客様のご要望に沿った  
レク・ディスカッション

- 個別調査  
ご要望に応じた調査の実施（特定  
の市場・技術・ビジネスモデルなど）

専門家と弊社ネットワークによる  
信頼性の高い調査結果

◆ PV EXPO【春】～第22回 [国際] 太陽光発電展～ に出展します。

◆ 2026年3月17日（火）～19日（木）10:00 - 17:00 東京ビッグサイト ブース番号：E10-36

皆様のご来場をお待ちしております。

# 「太陽光発電 2040年トップ電源への展開～2025年総括と2026年展望～」

開催日時：2026年1月22日（木） 15時00分～16時30分

- ①ご挨拶
- ②海外市場とサプライチェーンの潮流：2025年のまとめと2026年の展望
- ③太陽電池の最新トレンド：シリコン～ペロブスカイト
- ④太陽光発電・蓄電池に関連する政策の重要ポイント
- ⑤太陽光発電導入量予測（2025～2040年）
- ⑥蓄電池ビジネス2025年の振り返りと2026年の展望
- ⑦資源総合システムからのお知らせ
- ⑧質疑応答



本日のオンラインセミナーは終了いたしました。  
ご参加いただきありがとうございました。

アンケートへのご協力をお願いいたします

次回 会員限定オンラインセミナー開催予定日：  
**2026年2月18日（水曜日）**

本オンラインセミナーの録音およびプレゼンテーション資料をダウンロードするパスワードは、ご参加いただきました皆様に、後日メールにてご案内させていただきます。

今後の会員限定オンラインセミナー開催については、内容等詳細決まり次第、ご案内申し上げます。